

3 施策・基本事項評価結果

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 01 子育て環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
子ども、子どもの保護者	安心して子どもを産み育てられます。

施策の成果状況と評価

指標①	この地域で子育てをしたいと思う3歳児以下の子どもを持つ保護者の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【こども課】	%	96.5	96.9	96.9	97.0
評価	<p>(状況) この地域で子育てをしたいと思う3歳児以下の子どもを持つ保護者の割合は96.9%で、前年度と比較すると増減はありませんが、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.4ポイント増加し、わずかですが向上しています。厚生労働省が公表している「健やか親子21 (第2次)」の最終評価目標値である95.0%を上回っています。</p> <p>(原因) 乳幼児期の子育て環境について、母子保健事業や子育て支援事業の実施により、保護者がほぼ満足しているためと考えられます。</p>					目標達成度	
						■ ■ ■ (高)	

指標②	この地域で子育てをしたいと思う4歳から15歳までの子どもを持つ保護者の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【こども課】	%	86.7	86.9	-	→
評価	<p>(状況) この地域で子育てをしたいと思う4歳から15歳までの子どもを持つ保護者の割合は2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、実績値が未取得となっています。ただし、各種子育て事業や母子保健事業を実施し、いくつかの事業では成果指標が向上していることから、割合は増加しているものと考えられます。</p>					目標達成度	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 幼児教育・保育の充実
- 基本事項 02 放課後の居場所づくり
- 基本事項 03 多様な子育てニーズへの対応
- 基本事項 04 妊産婦と子どもの健康管理
- 基本事項 05 家族形成の支援

基本事項01 幼児教育・保育の充実

指標①	待機児童数 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		人	3	20	28	0	(低下)
評価	<p>(状況) 令和元年10月1日時点の待機児童数は28人で、前年度と比較すると8人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると25人増加しており、順調ではありません。内訳は、すべて保育所とこども園であり、幼稚園では発生していません。なお、年度当初の待機児童数は平成30年度は11人、令和元年度は20人となっています。</p> <p>(原因) 子どもの数は減少していますが、核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、保育所やこども園に子どもを預けたい世帯が増加しているためです。また、保育士不足が深刻化しており、ニーズに見合った人員を確保できていないためです。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>	

基本事項01 幼児教育・保育の充実

指標②	集団生活をしている3～5歳児の割合 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		%	93.8	95.0	97.3	95.0	(向上)
評価	<p>(状況) 保育所やこども園、幼稚園で集団生活をしている3～5歳児の割合は97.3%で、前年度と比較すると2.3ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると3.5ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、0～2歳児から保育所やこども園に子どもを預けたい世帯が増加し、3～5歳児においても継続して預けている世帯が増加したためです。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>	

基本事項01 幼児教育・保育の充実

指標③	特別保育年間延べ利用者数 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		人	68,819	59,427	49,304	70,000	(低下)
評価	<p>(状況) 特別保育年間延べ利用者数は49,304人で、前年度と比較すると10,123人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると19,515人減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、保育所や認定こども園の2号認定 (保育所型) に低年齢の子どもを預けたい世帯が増加し、保育所部門の利用者数が増となる一方、幼稚園及び認定こども園の1号認定 (幼稚園型) の児童が減少し、預かり保育利用者数が減少したことなどによるものと考えられます。また、昨年10月からの国の幼児教育・保育の無償化に伴い、この傾向がますます強まっています。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>	

基本事項02 放課後の居場所づくり

指標①	放課後児童クラブの待機児童数 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		人	14	3	39	0	(低下)
評価	<p>(状況) 令和元年度末時点での放課後児童クラブの待機児童数は39人で、前年度と比較すると36人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると25人増加しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 移転新設に伴い、うつみね児童クラブの待機児童が解消された一方、核家族化の進行や共働き世帯の増加などにより低学年の児童受入数が増加したことで、須賀川一小児童クラブの高学年などに待機児童が発生したためです。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>	

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	幼児教育・保育の充実
基本事項 02	放課後の居場所づくり
基本事項 03	多様な子育てニーズへの対応
基本事項 04	妊産婦と子どもの健康管理
基本事項 05	家族形成の支援

基本事項02 放課後の居場所づくり

指標②	放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を利用している児童の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	%	33.4	39.7	41.5	40.0	(向上)
評価	(状況) 放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を利用している児童の割合は41.5%で、前年度と比較すると1.8ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると8.1ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 令和元年度の児童数は4,075人であり、平成28年度の4,349人に比べ274人減少する一方、核家族化の進行等に伴う保護者のニーズの高まりにより、放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を利用する児童数は1,692人となり、平成28年度の1,452人に比べ240人増加しているためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項03 多様な子育てニーズへの対応

指標①	子育ての相談をする相手がない保護者の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	%	11.4	11.2	-	→	---
評価	(状況) 子育ての相談をする相手がない保護者の割合は、2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、実績値が未取得となっています。ただし、子育てサークル育成支援事業などの事業を実施しており、利用者が一定程度いる一方、核家族化などにより子育て世帯の孤立化が進んでいるため、ほぼ横ばいと推測されます。						目標達成度

基本事項03 多様な子育てニーズへの対応

指標②	子育て支援事業を利用した保護者の数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	人	28,957	31,358	39,870	32,000	(向上)
評価	(状況) 子育て支援事業を利用した保護者の数は39,870人で、前年度と比較すると8,512人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると10,913人増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 子育て支援センター利用者が629人減少、平成30年12月に閉館した「キッズパーク」利用者が16,120人減少したものの、平成31年1月に開館した「わいわいパーク」の利用者数が25,272人であったためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 妊産婦と子どもの健康管理

指標①	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	90.1	87.8	88.2	91.0	(横ばい)
評価	(状況) ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合は88.2%で、前年度と比較すると0.4ポイント増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.9ポイント減少し、ほぼ横ばいで推移しています。 (原因) 妊娠・出産・子育てにおける母親の不安を解消するために妊娠期から家庭訪問や健康相談などにより、切れ目のない支援を行うことで育児不安が解消され、安心して子育てができる環境になっていると考えられます。						目標達成度
							(高)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	幼児教育・保育の充実
基本事項 02	放課後の居場所づくり
基本事項 03	多様な子育てニーズへの対応
基本事項 04	妊産婦と子どもの健康管理
基本事項 05	家族形成の支援

基本事項04 妊産婦と子どもの健康管理

指標②	乳幼児健康診査における問診項目（10項目）が全国の直近の平均値を上回る項目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【健康づくり課】	項目	7	7	6	10	☔ (低下)
評価	基準値は、2015（H27）年に取得した数値です。	(項目)					目標達成度
	<p>（状況）乳幼児健康診査の問診項目（10項目）が全国の直近の平均値を上回る項目数は6項目で、前年度及び総合計画基準値（H27）と比較すると1項目減少しており、順調ではありません。なかでも「育てにくさを感じた時に対処できる親の割合」が前年度より低下しています。</p> <p>（原因）核家族の増加などで子どもへの関わり方を学ぶ機会が減少するなか、育児情報を上手に選択・活用することができず不安へとつながっていることなどが要因と考えられます。</p>						

基本事項05 家族形成の支援

指標①	婚姻数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	件	314	336	348	➔	☀ (向上)
評価	<p>（状況）婚姻数は348件で、前年度と比較すると12件増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると34件の増加となり、順調です。</p> <p>（原因）人口減少社会において、婚姻数は人口の動向に影響を与える重要な要素ですが、全国的に進んでいる未婚化、晩婚化を解消するために、市でも結婚新生活の支援事業などの取組を進めていることが要因として考えられます。</p>	(件)					目標達成度
						☑ (達成)	

基本事項05 家族形成の支援

指標②	初めて子どもを授かった母親の人数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【健康づくり課】	人	216	241	235	➔	☀ (向上)
評価	<p>（状況）初めて子どもを授かった母親の人数は235人で、前年度と比較すると6人減少していますが、総合計画基準値（H28）と比較すると19人の増加となっています。</p> <p>（原因）安心して妊娠・出産・子育てができるように保健師・管理栄養士等の専門職が相談に応じ、切れ目のない支援を提供するとともに特定不妊治療の一部助成などが要因として考えられます。</p>	(人)					目標達成度
						☑ (達成)	

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 02 学校教育の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、市民	変化の大きい社会に的確に対応できる「生きぬく力」が備わっています。

施策の成果状況と評価

指標①	市総合学力調査において正答率が全国平均を上回っている科目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【学校教育課】	科目(%)	9/14(64.3)	6/14(42.9)	2/10(20.0)	14/18(77.8)
評価	<p>(状況) 県学力調査において正答率が県平均を上回っている科目数は2科目です。県平均値を3ポイント以上下回っているのは小学4年算数の1科目で、他の9科目についてはほぼ県平均並みとなっています。また、平均正答率は57.5%となっています。</p> <p>※令和元年度より、市総合学力調査に代わり県学力調査を実施することとなり、例年度・基準値との単純比較はできません。</p> <p>(原因) 多くの科目で、「書く能力」や「数学的な考え方」などといった観点別の正答率でも県平均値とほぼ同じであることから、各学校において、基礎学力の定着とともに、活用のための思考力や判断力を伸ばす取組の充実が必要であると考えられます。</p>	グラフ表示はありません					目標達成度
							■■■ (低)

指標②	児童・生徒に道徳性が身に付いていると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【学校教育課】	%	23.6	21.5	-	➔
評価	<p>(状況) 実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、道徳の授業が「特別の教科道徳」となり、新たな視点で教職員が指導に取り組み、児童・生徒の道徳性が向上してきているものと推測します。また、市内の学校では参観日の授業で道徳を実施するようになり、保護者及び市民に児童・生徒の道徳に取り組む姿勢がわかるように工夫しています。そのため、保護者には我が子の道徳性が身についた様子が分かるようになり、保護者の関心も高まってきていると推測します。</p>						目標達成度

指標③	全国体力・運動能力調査において全国平均を上回っている種目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【学校教育課】	種目	16	12	7	18
評価	<p>(状況) 全国体力・運動能力調査において全国平均を上回っている種目数は34種目中7種目で、前年度と比較すると5種目減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると9種目減少しており、順調ではありません。全国平均を上回った種目の内訳は、小学生男子の握力、立ち幅とび、小学生女子の握力、立ち幅とび、反復横とび、中学生男子のシャトルラン、中学生女子の握力です。</p> <p>(原因) 中学生の運動離れが進んでいることが原因と考えられます。なお、中学生に比べ、小学生で全国平均を上回っている種目が多いのは、各小学校で取り組んでいる「運動身体づくりプログラム」や「ふくしまっ子児童期運動指針」の取組の成果が表れているためと考えられます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 確かな学力の育成
- 基本事項 02 心の教育の推進
- 基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
- 基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
- 基本事項 05 特別支援教育の充実
- 基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項01 確かな学力の育成

指標①	国語と算数（数学）が好きな児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	64.5	61.0	66.2	67.5	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 国語と算数（数学）が好きな児童・生徒の割合は66.2%で、前年度と比較すると5.2ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると1.7ポイント増加しており、順調です。小学校国語で69.9%、中学校国語で72.3%、小学校算数で72.3%、中学校数学で54.9%が好きと答えています。</p> <p>(原因) 小学校・中学校の国語と小学校の算数では「授業がよくわかる」と答えている割合が県・全国平均を上回っていますが、中学校数学では下回っていることから、授業を充実させることが児童生徒の興味関心につながると考えられます。</p>					☀ (向上)	
		目標達成度	■■ (中)				

基本事項01 確かな学力の育成

指標②	小6における国語・算数の正答率が全国平均を上回っている科目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	科目	0	0	1	2	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 小6における国語・算数の正答率が全国平均を上回っている科目数は1科目で、総合計画基準値(H28)と比較し1科目向上しています。国語が64.0% (全国平均比+0.2ポイント)、算数が63.0% (全国平均比-3.6ポイント) となっております。</p> <p>※令和元年度から市総合学力調査を実施しなくなったため、全国学力調査の結果を参照しています。</p> <p>(原因) 算数のみならず国語においても知識を活用する設問の正答率が低くなっていることから、各学校において、基礎学力の向上への取組が進められている一方、活用のための思考力を伸ばすような取組が不十分であると考えられます。</p>					☀ (向上)	
		目標達成度	■■ (中)				

基本事項01 確かな学力の育成

指標③	中3における国語・数学・英語の正答率が全国平均を上回っている科目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	科目	2	2	0	3	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 中3における国語・数学・英語の正答率が全国平均を上回っている科目数は0科目で、総合計画基準値(H28)と比較し2科目減少しています。国語が72.0% (全国平均比-0.8ポイント)、数学が55.0% (全国平均比-4.8ポイント)、英語が51.0% (全国平均比-5.0ポイント) と、全科目で全国平均を下回っています。</p> <p>※令和元年度から市総合学力調査を実施しなくなったため、全国学力調査の結果を参照しています。</p> <p>(原因) 知識を活用する設問の正答率が特に低くなっていることから、各学校において、基礎学力の定着は進む一方、活用のための思考力を伸ばすような取組が不十分であると考えられます。</p>					☔ (低下)	
		目標達成度	■■ (低)				

基本事項01 確かな学力の育成

指標④	前年度と比べ授業改善効果が見られた科目数（小5以上の国・算（数）・中2以上の英語11科目中）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	科目	7	7	-	7	---
評価	<p>(状況) 令和元年度より、市総合学力調査に代わり、県学力調査を実施することとなったため、前年度からの変容は把握できません。なお、令和2年度からは、県学力調査により前年度からの変容を把握できるようになります。</p>					---	
		目標達成度	---				

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 確かな学力の育成
- 基本事項 02 心の教育の推進
- 基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
- 基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
- 基本事項 05 特別支援教育の充実
- 基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項02 心の教育の推進

指標 ①	1,000人当たりの不登校児童・生徒数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	人	8.6	13.0	12.6	8.1	☔ (低下)
評 価	<p>(状況) 1,000人当たりの不登校児童生徒数は12.6人で、前年度と比較すると0.4人減少していますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると4.0人増加しており、順調ではありません。また、不登校児童・生徒数の内訳は小学校11人、中学校68人の計79人です。</p> <p>(原因) 不登校のきっかけの多くは、学校生活にあると考えられますが、その要因、背景が複雑化し、学校が個々の児童・生徒の要因を的確に把握し、解消することが難しくなっていることが原因と考えられます。</p>	(人)					目標 達成度
							■ ■ ■ (低)

基本事項02 心の教育の推進

指標 ②	不登校児童・生徒学校復帰率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	%	20.7	12.0	5.0	30.0	☔ (低下)
評 価	<p>(状況) 不登校児童・生徒学校復帰率は5.0%で、前年度と比較すると7.0ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると15.7ポイント減少しており、順調ではありません。しかし、復帰傾向児童・生徒が13名あり、復帰及び復帰傾向児童・生徒を合わせた割合は、21.5%です。</p> <p>(原因) 学校での対応に加えて、「心の教室相談員 (7名)」「スクールソーシャルワーカー (2名)」「緊急時スクールカウンセラー (1名)」を配置し、児童・生徒及びその保護者の話を聞く機会を設けていますが、背景が複雑化し、短期間での復帰が難しくなっていると考えられます。</p>	(%)					目標 達成度
							■ ■ ■ (低)

基本事項02 心の教育の推進

指標 ③	児童・生徒が自らに道徳性が身に付いていると思う項目数 (10項目中)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	項目	5	8	8	7	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 児童・生徒が自らに道徳性が身に付いていると思う項目数 (10項目中) は8項目で、前年度と同数であり、総合計画基準値 (H28) と比較すると3項目増加しており、目標値を達成しています。内訳として、小学校は3項目、中学校は5項目が全国を上回っている状況です。</p> <p>(原因) 学校教育の重点目標に自尊意識を高めることを掲げ、小中一貫教育の中でも同一歩調で心の教育を進めていることから道徳性が高まっていると思われます。</p>	(項目)					目標 達成度
							☑ (達成)

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標 ①	肥満児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	%	14.0	13.0	14.1	12.0	☁ (横ばい)
評 価	<p>(状況) 肥満児童・生徒の割合は14.1%で、前年度と比較すると1.1ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.1ポイント増加しており、順調ではありません。小学校5年男子の肥満児童割合が17.78%と最も高く、中学校より小学校で肥満割合が高い傾向にあります。</p> <p>(原因) 運動量の低下、食生活の変容、睡眠不足、携帯情報端末の利用時間の増加が考えられます。各学校では、食育、保健、運動を関連させ、継続的に健康指導を行っているところです。また、各学校から保護者に健康指導が必要である該当児童・生徒の医療機関への受診を勧めています。</p>	(%)					目標 達成度
							■ ■ ■ (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	確かな学力の育成
基本事項 02	心の教育の推進
基本事項 03	健康増進と体力向上の推進
基本事項 04	開かれた学校づくりの推進
基本事項 05	特別支援教育の充実
基本事項 06	教育環境の計画的整備の推進

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標②	運動が好きな児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	55.2	56.8	58.3	62.0	(向上)
評価	(状況) 運動が好きな児童・生徒の割合は58.3%で、前年度と比較すると1.5ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると3.1ポイント増加しており、順調です。特に小学校5年男子が74.0%と最も高く、反対に中学校2年女子が44.6%と最も低い状況です。 (原因) 運動に対する二極化が進んでいると考えられます。各学校の体育科・保健体育科の授業では、運動の場の設定や段階的な指導等、個に応じた指導の工夫により、運動の楽しさを感じさせる実践に取り組んでいます。						目標達成度
							(低)

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標③	運動能力の向上を要する児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	22.6	26.3	23.7	22.0	(低下)
評価	(状況) 運動能力の向上を要する児童・生徒の割合は23.7%で、前年度と比較すると2.6ポイント減少しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.1ポイント増加しており、順調ではありません。また、全国平均との比較では、中学校2年生男子が高くなっています。 (原因) 運動が好きな児童・生徒の数値はやや増加していますが、それが体力向上に結び付いていないと考えられます。各学校で体力テストのデータを分析し、弱点となっている体力要素を中心に補強していく必要があります。						目標達成度
							(低)

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標④	歯科健康診断で虫歯があると診断された児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	56.9	52.5	49.2	54.0	(向上)
評価	(状況) 歯科健康診断で虫歯があると診断された児童・生徒の割合は49.2%で、前年度と比較すると3.3ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると7.7ポイント減少し、目標値を達成しています。 (原因) 各小中学校における歯科指導の効果が出ているためと考えられます。また、平成29年度より開始した小学校におけるフッ化物洗口の虫歯予防効果が数字に表れるまでには数年かかるため、フッ化物洗口については継続する必要があります。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 開かれた学校づくりの推進

指標①	学校の行事等に参加・協力している市民の割合 (中学生以下の子どもを持つ保護者は除く)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	13.6	12.2	-	→	---
評価	(状況) 学校の行事等に参加・協力している市民の割合は、2年に1度実施する市民アンケートからの取得としているため、実績値は未取得となっています。 ただし、全中学校区で合同学校評議員会が開催されるようになるなど、地域との連携は着実に進んでいるため、割合はわずかながらも向上していると推測します。						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 確かな学力の育成
基本事項 02 心の教育の推進
基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
基本事項 05 特別支援教育の充実
基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項04 開かれた学校づくりの推進

指標②	学校評議員による学校評価の平均点数(5点満点)	単位	基準値(H28)	実績値(H30)	実績値(R01)	目標値(R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	点	4.4	4.3	4.3	4.5	(横ばい)
評価	(状況) 学校評議員による学校評価の平均点数は4.3点で、前年度とは同数であり、総合計画基準値(H28)と比較すると0.1点の減少で、ほぼ横ばいです。しかし、5点満点の評価をいただいた項目も多く、特に「特別支援教育の充実」に対する評価では約半数の学校評議員が5点満点の評価をし、平均4.5点と目標を達成しています。 (原因) 市配置特別支援教育支援員の増員等により、当該児童生徒及び保護者のニーズに寄り添った対応や教育活動が、学校評議員や地域の方々に伝わっているものととらえています。また、各学校が創意工夫を図り、学校だよりやホームページ等で学校評議員や地域の方々へ情報発信している成果であると考えられます。						目標達成度 ■■ (中)

基本事項05 特別支援教育の充実

指標①	要支援児童・生徒に対する特別支援教育支援員の配置率	単位	基準値(H28)	実績値(H30)	実績値(R01)	目標値(R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	38.8	34.0	36.0	50.0	(低下)
評価	(状況) 要支援児童・生徒に対する特別支援教育支援員の配置率は36.0%で、前年度と比較すると2.0ポイント増加していますが、総合計画基準値(H28)と比較すると2.8ポイント減少しており、順調ではありません。 (原因) 特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあります。が、特別支援教育支援員の希望者が減少していることが原因です。						目標達成度 ■■ (低)

基本事項05 特別支援教育の充実

指標②	個別の指導計画、支援計画に基づいて学んでいる児童・生徒の割合	単位	基準値(H28)	実績値(H30)	実績値(R01)	目標値(R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	83.8	92.2	92.2	100.0	(向上)
評価	(状況) 個別の指導計画、支援計画に基づいて学んでいる児童・生徒の割合は92.2%で、前年度とは同数ですが、総合計画基準値(H28)と比較すると8.4ポイント増加しており、順調です。 (原因) 個別に支援を必要とする児童・生徒が年々増加している中で、特別支援コーディネーターを対象に、個別の指導計画、支援計画の作成の仕方について研修会を実施していることが大きな要因です。						目標達成度 ■■ (中)

基本事項06 教育環境の計画的整備の推進

指標①	改修等により安全で適正な学校施設になった延べ件数(計画期間累計)	単位	基準値(H28)	実績値(H30)	実績値(R01)	目標値(R04)	指標のうごき
	【教育総務課】	件	10	21	47	50	(向上)
評価	(状況) 改修等により安全で適正な学校施設になった延べ件数は47件です。改築等により、学校施設の状態は改善されていますが、建築から年数を経過している施設も多く、修繕や改修が必要となっています。 (原因) 児童生徒の生活環境を改善するためのトイレの改修や特別教室に空調設備を整備するなど、多くの改修工事を行うことができたためです。						目標達成度 ■■ (高)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 確かな学力の育成
- 基本事項 02 心の教育の推進
- 基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
- 基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
- 基本事項 05 特別支援教育の充実
- 基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項06 教育環境の計画的整備の推進

	施設管理上の不具合における教育支障件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
指標 ②	【教育総務課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 施設管理上の不具合における教育支障件数は0件で、保守、維持管理と改修により安全な教育環境は保たれていますが、建築から年数を経過している施設も多く、また、狭隘な体育館などもあります。</p> <p>(原因) 毎年各学校を訪問し、実施している営繕調査や学校からの要望、破損の報告について、緊急度や重要度を判断し、修繕を行うとともに、改修工事を計画的に行ったことにより、成果につながっています。</p>	<p>(件)</p>					<p>目標 達成度</p> <p>☑ (達成)</p>

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	生涯にわたり、様々な機会や場所で学習を行い、その成果を豊かな生活や地域社会に生かしています。

施策の成果状況と評価

指標①	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【生涯学習スポーツ課】	%	25.2	24.4	-	→
評価	<p>(状況) 生涯学習に取り組んでいる市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は未取得となっています。ただし、市民交流センターが開館し、市民交流センターでの生涯学習事業・イベントに参加した市民の増加や、図書館の貸出冊数及び利用者が増加していることから、より多くの方が生涯学習に取り組んでいるものと考えられるため、令和元年度の状況は、向上しているものと推測されます。</p>						目標達成度

指標②	生涯学習の成果を地域や社会、家庭に生かしている市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【生涯学習スポーツ課】	%	16.9	15.4	-	→
評価	<p>(状況) 生涯学習の成果を地域や社会、家庭に生かしている市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は未取得となっています。ただし、市民交流センターが開館し、市民交流センターでの生涯学習事業・イベントに参加した市民の増加や、図書館の貸出冊数及び利用者が増加していることから、より多くの方が生涯学習に取り組み、地域や社会などに生かしているものと考えられるため、令和元年度の状況は、向上しているものと推測されます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な学習や活動機会の充実
基本事項 02 家庭教育の向上と青少年健全育成
基本事項 03 学校教育と社会教育の連携・融合
基本事項 04 公民館機能の充実
基本事項 05 生涯学習施設環境の充実

基本事項01 多様な学習や活動機会の充実

指標①	生涯学習機会に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	78.7	81.4	-	→	
評価	(状況) 生涯学習機会に満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は未取得となっています。ただし、市民交流センターが開館し、市民交流センターでの生涯学習事業・イベントに参加した市民の増加や、図書館の貸出冊数及び利用者が増加していることから、より多くの方が生涯学習に取り組んでいるものと考えられるため、令和元年度の状況は、向上しているものと推測されます。					目標達成度	

基本事項01 多様な学習や活動機会の充実

指標②	生涯学習の活動機会に関する情報提供の満足度	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	73.5	76.6	-	→	
評価	(状況) 生涯学習の活動機会に関する情報提供の満足度は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は未取得となっています。ただし、市広報紙や公民館報、ホームページをはじめ、新たにウルトラFMなどを活用した積極的な情報発信が、市民に浸透してきているものと考えられるため、令和元年度の状況は、向上しているものと推測されます。					目標達成度	

基本事項02 家庭教育の向上と青少年健全育成

指標①	基本的な生活習慣が身に付いている児童割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	73.2	81.8	88.2	80.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 基本的な生活習慣が身に付いている児童割合は88.2%で、前年度と比較し6.4ポイント増加しています。また、総合計画基準値(H28)と比較し15.0ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 各家庭において、基本的な生活習慣を身につけさせるための手だて等が実践されていることや、各小学校で行われている家庭教育等の講座が充実していることが要因と考えられます。なお、調査方法の変更に伴い、調査対象が小学4年生から6年生に変更になりました。					目標達成度	
							👑 (達成)

基本事項02 家庭教育の向上と青少年健全育成

指標②	基本的な生活習慣が身に付いている生徒割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	80.2	81.2	78.8	85.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 基本的な生活習慣が身に付いている生徒割合は78.8%で、前年度と比較すると2.4ポイント減少しました。また、総合計画基準値(H28)と比較すると1.4ポイント減少しており、順調ではありません。 (原因) 調査対象が中学1年生から3年生に変更になり、学校生活の慣れから高学年になるほど生活習慣が身につけている割合が低くなる傾向にあるため、低下したものと推測されます。 なお、基本的な生活習慣の定着を図るため、各中学校において、家庭教育の講座等を毎年開催しています。					目標達成度	
							■ (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な学習や活動機会の充実
基本事項 02 家庭教育の向上と青少年健全育成
基本事項 03 学校教育と社会教育の連携・融合
基本事項 04 公民館機能の充実
基本事項 05 生涯学習施設環境の充実

基本事項03 学校教育と社会教育の連携・融合

指標①	学社連携・融合事業実施件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	件	12	13	17	15	(向上)
評価	(状況) 学社連携・融合事業実施件数は17件で、前年度と比較し4件増加しました。また、総合計画基準値 (H28) と比較し5件増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 地区ごとの連携・協力が深まるよう、公民館や学校が主体となって働きかけてきたことが主な原因と考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事項03 学校教育と社会教育の連携・融合

指標②	学校支援ボランティアとして活動した延べ回数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	回	4,420	8,171	9,439	4,500	(向上)
評価	(状況) 学校支援ボランティアとして活動した延べ回数は9,439回で、前年度と比較し1,268回増加しています。また、総合計画基準値 (H28) と比較し5,019回増加(約2倍)となり、目標値を達成しています。 (原因) 子どもの登下校に関する見守りや、特設活動に関する指導・支援が大幅な増加につながりました。また、多様な学校教育活動において、積極的にボランティアを活用し、学校と地域の連携、協働を図ったことも主な原因と考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事項04 公民館機能の充実

指標①	公民館を利用している市民の割合 (度合い)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	143.1	131.2	122.2	144.5	(低下)
評価	(状況) 公民館を利用している市民の割合 (度合い) は122.2%で、前年度と比較すると9.0ポイント減少しました。また、総合計画基準値 (H28) と比較すると20.9ポイント減少しており、順調ではありません。 (原因) 中央公民館が平成30年12月に閉館し、市民交流センターへ利用者が移行したことや台風第19号の影響による各種事業の中止及び貸館の利用者が減少したこと、また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、活動自粛となったことなどが主な要因です。						目標達成度 (低)

基本事項04 公民館機能の充実

指標②	各公民館で実施した事業に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	79.5	95.4	96.1	90.0	(向上)
評価	(状況) 各公民館で実施した事業に満足している市民の割合は96.1%で、前年度と比較し0.7ポイント増加しました。また、総合計画基準値 (H28) と比較し16.6ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 各公民館において講座ごとにアンケートを実施しており、参加者からの意見を踏まえながら、事業の検証、改善に努めた成果が満足度の向上に表れているものと考えられます。						目標達成度 (達成)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な学習や活動機会の充実
基本事項 02	家庭教育の向上と青少年健全育成
基本事項 03	学校教育と社会教育の連携・融合
基本事項 04	公民館機能の充実
基本事項 05	生涯学習施設環境の充実

基本事項04 公民館機能の充実

指標③	この1年間で公民館を利用したことがある市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	37.4	35.1	-	→	
評価	(状況) この1年間で公民館を利用したことがある市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は未取得となっています。ただし、中央公民館が平成30年12月に閉館し、市民交流センターへ利用者が移行したことや、台風第19号の影響による各種事業の中止及び貸館の利用者が減少したこと、また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、活動自粛となったことなどにより、令和元年度の状況は、低下傾向にあると推測されます。						目標達成度

基本事項05 生涯学習施設環境の充実

指標①	生涯学習施設（公民館・図書館等）の充足度に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	73.3	86.2	-	→	
評価	(状況) 生涯学習施設（公民館・図書館等）の充足度に満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は未取得となっています。ただし、市民交流センターの開館に伴い、中央図書館をリニューアルするなど、利用者の利便性が向上したため、令和元年度の状況は、向上しているものと推測されます。						目標達成度

基本事項05 生涯学習施設環境の充実

指標②	生涯学習施設の事故・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	件	1	0	0	0	
評価	(状況) 生涯学習施設の事故・トラブル件数は0件です。 (原因) 利用者が安全・安心に利用できるよう常に施設の適切な維持管理、運営に努めていることが無事故等につながっています。						目標達成度 (達成)

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 04 生涯スポーツの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	いつでもどこでも気軽にスポーツ活動に親しみ取り組んでいます。

施策の成果状況と評価

指標①	スポーツに親しんでいる市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき												
		【生涯学習スポーツ課】	%	56.6	56.2	-	→												
評価	<p>(状況) スポーツに親しんでいる市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は未取得となっています。ただし、台風第19号の影響による円谷幸吉メモリアルマラソン大会をはじめとした各種事業の中止や、須賀川アリーナが休館となったこと、また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各種事業の中止や活動自粛となったことにより、令和元年度の状況は、低下しているものと推測されます。</p>	<table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>56.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>56.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>-</td> <td>60.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H28	56.6	-	H30	56.2	-	R04	-	60.0	目標 達成度
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																	
H28	56.6	-																	
H30	56.2	-																	
R04	-	60.0																	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 スポーツ活動の推進

基本事項 02 スポーツ施設環境の充実

基本事項01 スポーツ活動の推進

指標①	スポーツ大会・教室の参加者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	人	38,598	34,579	18,497	41,800	☔ (低下)
評価	(状況) スポーツ大会・教室の参加者数は18,497人で、前年度と比較し16,082人減少しました。また、総合計画基準値 (H28) と比較し20,101人減少しており、順調ではありません。 (原因) 台風第19号の影響による円谷幸吉メモリアルマラソン大会をはじめとした各種事業の中止や、須賀川アリーナの休館などが主な原因です。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各種事業の中止や活動自粛なども原因と考えられます。						目標達成度
							■ (低)

基本事項01 スポーツ活動の推進

指標②	スポーツやレクリエーションに参加する機会が充実していると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	77.0	81.2	-	→	
評価	(状況) スポーツやレクリエーションに参加する機会が充実していると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は未取得となっています。ただし、台風第19号の影響による事業の中止や須賀川アリーナの休館などにより、令和元年度の状況は、前年度と比較し低下しているものと推測されます。						目標達成度

基本事項02 スポーツ施設環境の充実

指標①	スポーツ施設の年間利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	人	554,897	526,436	378,707	601,500	☔ (低下)
評価	(状況) スポーツ施設の年間利用者数は378,707人で、前年度と比較し147,729人減少しました。また、総合計画基準値 (H28) と比較すると176,190人減少しており、順調ではありません。 (原因) 台風第19号の影響により、須賀川アリーナと浜田地域体育館が休館となったことや、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、貸館の休止や事業の中止などが主な原因と考えられます。						目標達成度
							■ (低)

基本事項02 スポーツ施設環境の充実

指標②	スポーツ施設維持管理上の事故・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) スポーツ施設維持管理上の事故・トラブル件数は0件です。 (原因) 利用者が安全・安心に利用できるよう常に施設の適切な維持管理、運営に努めていることが事故・トラブルの防止につながっています。						目標達成度
							🏰 (達成)

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 05 文化芸術の振興と継承

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	文化芸術を通じ、地元への愛着や誇りが育まれています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	ふるさと須賀川の文化や歴史に誇りや愛着を感じている市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【文化振興課】	%	69.9	67.7	-	→
評 価	(状況) ふるさと須賀川の文化や歴史に誇りや愛着を感じている市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は未取得となっています。なお、令和元年度の事務事業の状況はほぼ横ばいで推移していたことから、前年度と同程度であると推測されます。						目 標 達 成 度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進
基本事項 02	特撮文化拠点都市の構築・発信
基本事項 03	文化芸能の継承
基本事項 04	文化財の保護と活用の推進
基本事項 05	ふるさと学習の推進

基本事項01 文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進

指標①	文化芸術鑑賞の機会に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	70.8	76.2	-	→	---
評価	(状況)文化芸術鑑賞の機会に満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は取得できていませんが、平成28年度が70.8%、平成30年度が76.2%となっており文化芸術鑑賞の機会に満足している市民の割合は増加していると推測します。						目標達成度

基本事項01 文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進

指標②	文化芸術を鑑賞できる施設（文化センター、博物館）の入場者数合計	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	人	63,262	54,467	46,056	67,000	☔ (低下)
評価	(状況)文化芸術を鑑賞できる施設（文化センター、博物館）の入場者数合計は46,056人で、前年度と比較すると8,411人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると17,206人減少しており、順調ではありません。 (原因)文化センターが耐震補強工事により令和元年7月から休館していることが主な原因と考えられます。						目標達成度
							■ (低)

基本事項02 特撮文化拠点都市の構築・発信

指標①	特撮文化が須賀川市の特長だと思ふ市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	84.2	87.5	-	→	---
評価	(状況)特撮文化が須賀川市の特長だと思ふ市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は取得できていませんが、平成28年度が84.2%、平成30年度が87.5%となっていることから特撮文化が須賀川市の特長であると思ふ市民の割合は増加していると推測します。						目標達成度

基本事項03 文化芸能の継承

指標①	文化芸能の活動をしている団体に所属している市民数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	人	4,779	3,982	3,646	5,000	☔ (低下)
評価	(状況)文化芸能の活動をしている団体に所属している市民数は3,646人で、前年度と比較すると336人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると1,133人減少しており、順調ではありません。 (原因)文化芸能団体数は171団体で、平成28年度の197団体から26団体減少しており、各団体の会員の高齢化や新規会員の入会が少ないためと推測します。						目標達成度
							■ (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進
基本事項 02	特撮文化拠点都市の構築・発信
基本事項 03	文化芸能の継承
基本事項 04	文化財の保護と活用の推進
基本事項 05	ふるさと学習の推進

基本事項04 文化財の保護と活用の推進

指標①	文化財に親しみを感じている市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	70.8	74.2	-	→	
評価	(状況) 文化財に親しみを感じている市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得となっているため、実績値は取得できていませんが、令和元年度の状況は、前年度と同程度であると推測します。						目標達成度

基本事項04 文化財の保護と活用の推進

指標②	指定文化財数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	件	104	116	109	114	
評価	(状況) 公開・活用された指定文化財数は109件で、前年度と比較して7件低下していますが、総合計画基準値と比較すると5件増加しています。指定文化財の公開・活用は概ね順調に図られています。 (原因) 平成30年度は博物館の常設展や企画展において、指定文化財となっている館収蔵資料を公開したのに対し、令和元年度は未指定の文化財を積極的に公開したため、結果的に指定文化財の公開数が減少したことによるものです。						目標達成度

基本事項05 ふるさと学習の推進

指標①	郷土の歴史学習を行っている小・中学校の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
評価	(状況) 郷土の歴史学習を行っている小学校の割合は100.0%で、目標値を達成しています。 (原因) 市内の全小学校3年生の社会科の授業において、副読本「いわせ」を活用した学習が5時間以上実施されており、地域の理解を深めるふるさと学習が順調に進められているためです。						目標達成度